

世界の仮面

担当者

本木綾乃・杉浦花奏・大岩愁汰・野呂茜里・加藤聖悟

世界の仮面

- 仮面は、祭や儀礼の場で特定の役になりきるために用いられました。見た目や使用方法は地域によって異なり、壁に掛ける装飾としての仮面もあります。
- 本展では、博物館に収蔵される資料のなかから東南アジア・パプアニューギニア・アフリカの仮面を展示します。神秘的な仮面の世界をお楽しみください。

パプアニューギニア

これらのコレクションは、
全てパプアニューギニアの
セピック河流域で蒐集され
たものです。現地では、
「精霊」信仰がされており、
今回、展示する仮面は、主
に精霊を模した壁掛け仮面
となっています。

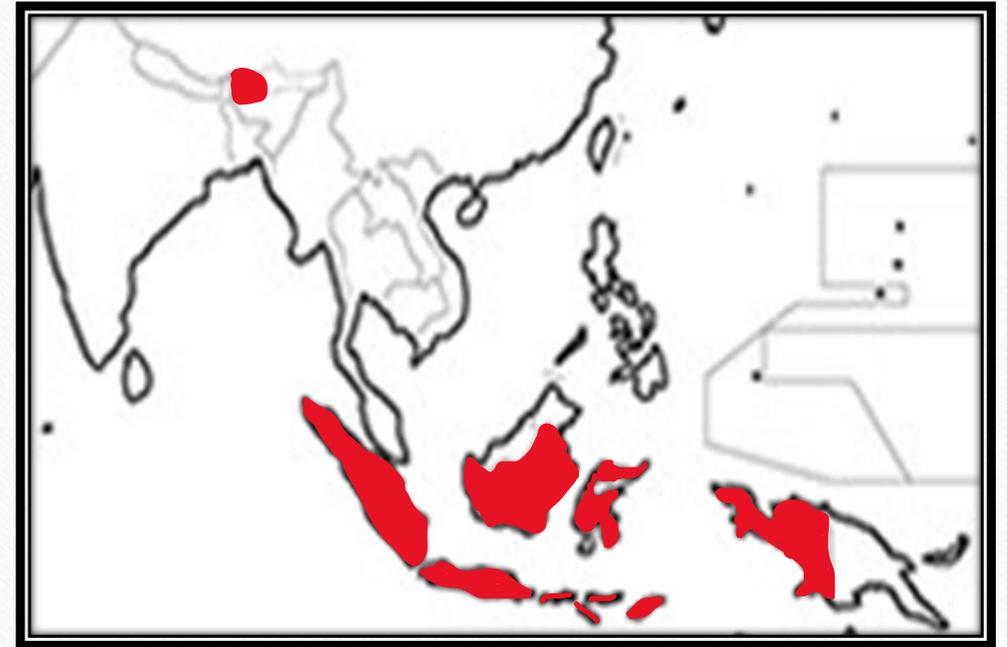




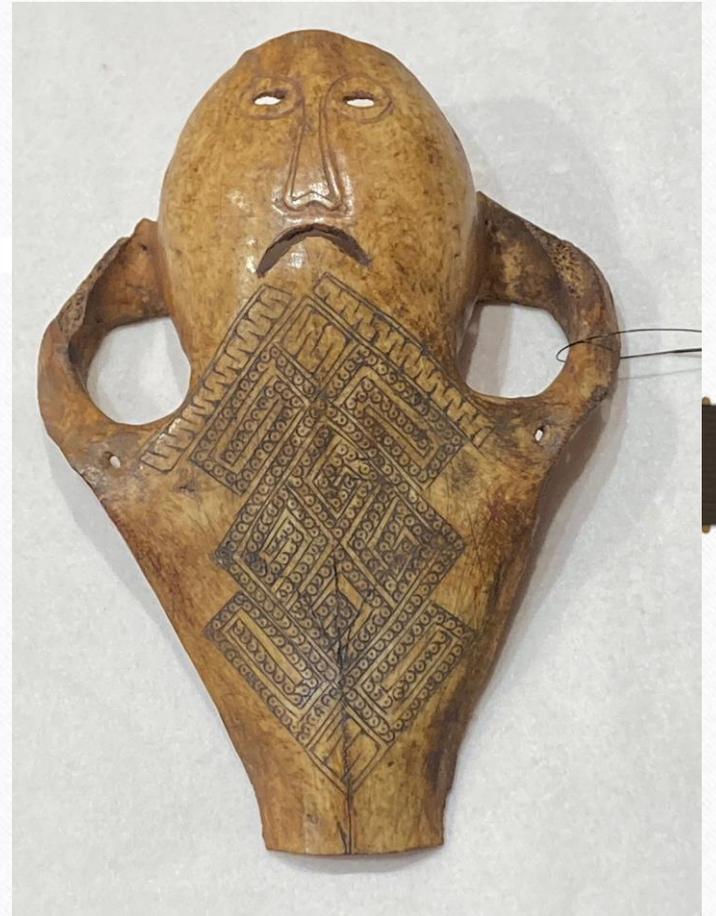
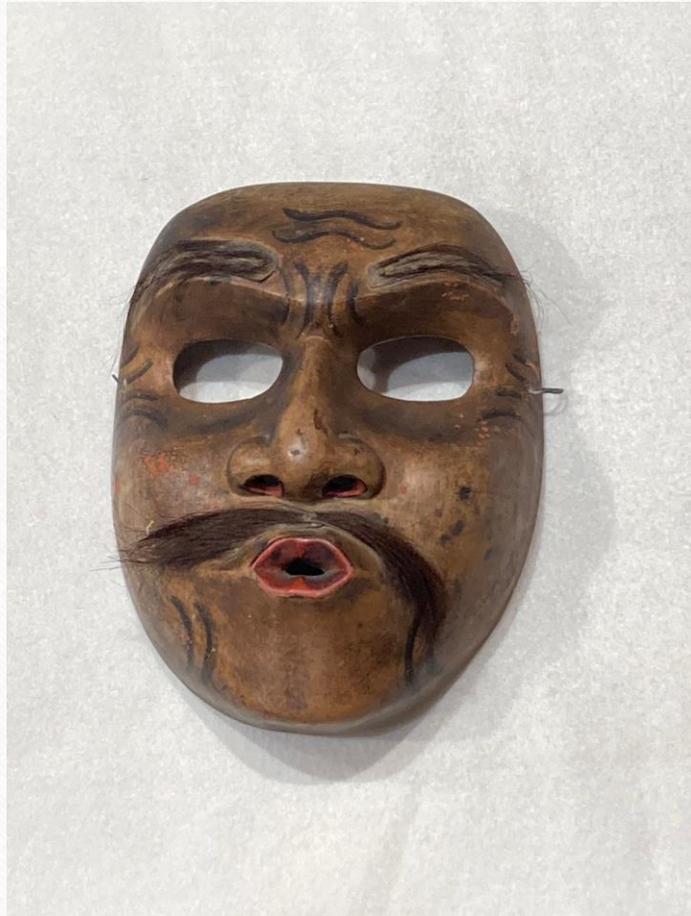


東南アジア

これらは、インドネシアとブータンの仮面です。インドネシアのバリ島には、有名なバロン劇“タリ・バロン”という仮面舞踊劇があります。その舞踊会で用いられる仮面に似通ったデザインとなっています







アフリカ

これらのコレクションは、アフリカで蒐集されたものです。今回は、西アフリカ、東アフリカ（モザンビーク）、中部アフリカ（コンゴ）の仮面を展示します。



